

## 大芝小学校 第6学年「家庭科」シラバス

### 学習到達目標

家庭生活に関する体験的活動を通して、家庭生活を支えているものが分かり、家庭生活の大切さに気づくことです。  
 製作や調理などの基礎的スキルを身に付け、生活に活用できるようにすることです。  
 家族の一員として、家庭生活をよりよくしようとする態度を身に付けることです。

### 6年

月	学習内容	学習のねらい
4	<b>生活時間を見直してみよう</b>	毎日の自分の生活時間を見て、よくしたい点を見つけ、その原因や解決方法を考えることができる。 自分や家族のために、生活時間を有効に使う工夫をすることができる。
5	<b>5見直そう！毎日の食事</b>	毎日の食事の食べ物の組み合わせに関心をもつことができる。
6	1 どんな食べ物を食べているのかな 2 ごはんとみそしるをつくろう	ごはんのたき方とみそしるのつくり方を調べて調理計画を立て、工夫して調理することができる。
7	3 おかずの必要性を考えよう	1 食分の食事の栄養的なバランスを調べることができる。 健康な体をつくり、元気に生活するために、いろいろな食品をバランスよく食べることの必要性を理解することができる。 自分の食事の仕方や栄養的なバランスを考え、よりよい食事を工夫することができる。
9	<b>6つくろう！さわやか生活</b>	身の回りで、暑い季節を気持ちよく過ごすためにしている工夫を見つけ、自分でできることを考えることができる。
10	1 暑い季節を気持ちよく過ごそう 2 衣服の着方を考えよう	衣服のつくりやはたらきが分かり、目的に応じた衣服の着方を工夫することができる。
11	3 衣服の手入れをしよう 4 生活に役立つものをつくろう	衣服の手入れの必要性を理解し、日常着の洗濯ができる。 自分なりに工夫して、生活に役立つ袋やカバーをつくることができる。
11	<b>7まかせてね！きょうのごはん</b>	栄養的なバランスを考えて、食べ物を組み合わせる必要があることを理解することができる。
12	1 食べ物の組み合わせを考えよう 2 家族の喜ぶおかずをつくろう	家族のために、栄養的にバランスのよい1食分の食事を計画することができる。
12	3 楽しい食事をくふうしよう	家族の喜ぶおかずを工夫して調理することができる。 食事にはふれ合いを深めるはたらきがあることを理解し、楽しい食事にするために工夫することができる。
1	<b>8くふうしよう！季節に合う暮らし</b>	季節の変化に合わせて、どのように生活を工夫しているかを考えるとともに、家庭で行っている住み方の工夫を見つけ、実践しようとする態度を身につけることができる。
2	1 季節に合う暮らしを考えよう 2 快適な住み方をくふうしよう	あたたかさ(日当たりと暖ぼう)、風通し、明るさの中から、自分が課題にしたいことを選び、調べたり、試したり、考えたりして課題の解決を図り、発表することができる。
2	<b>9伝えよう！ありがとうの気持ち</b>	今までの学習をふり返り、自分ができるようになったことや実行していることをまとめ、自分の生活の仕方や家族への思いの変化などを考えることができる。
3	1 できるようになったことをふり返ろう 2 家族へ地域へふれ合いを広げよう 3 わたしの気持ちを伝えよう	家庭生活は家族一人一人が自分にできることを考え、協力し合うとともに、地域全体の人たちとのつながりを考えて生活することが大切であることを理解することができる。 家族や親せき、地域の人など、自分の生活を支えてくれたり、成長を見守ってくれた人に、改めて感謝の気持ちをもつとともに、自分なりに計画を立て、家庭科の学習の成果を生かして、感謝の気持ちを伝える。
3	<b>これからの生活に向けて</b>	2年間の学習を記録や作品をもとにふり返り、分かったこと、できるようになったこと、実行していることなどの成果をまとめることができる。 もっと努力したいことなどを見つけ出すとともに、学習で身につけたことを家族や身近な人のために生かし、役立つようになろうとする意欲をもつことができる。

## 評価の観点・方法

家庭科の評価の観点は、次のように設定されています。

### 1．家庭生活への関心・意欲・態度

家庭生活に関心を持ち、自分とのかかわりから生活を見ることができるか  
衣食住に関する仕事に進んで取り組もうとしているか  
学習したことを自分の生活に生かそうとしているか  
家族の一員として協力しようとしているか などの評価です。

### 2．生活を創意工夫する能力

自分の生活との関わりから家庭生活を見直しているか  
習得した知識や生活の技能をもとに考えたり試したりしているか  
家庭科の学習について自分なりの工夫をしようとしているか などの評価です。

### 3．生活の技能

家庭生活に必要な基礎的スキルが身に付いているか という評価です。

### 4．家庭生活についての知識・理解

衣食住などの生活に必要な基礎的な知識が身に付いているか  
家庭生活について基礎的な理解ができているか などの評価です。

評価の方法は次の通りです。

実習や計画立案への積極性

毎時間の学習への取り組み状況

作品の提出状況

家庭での実践記録

学習過程での技能の習熟状況

完成した作品

学習プリントの記入状況

ペーパーテスト などにより評価します。

## お知らせ・お願い

学習したことが、日常生活に生きて働く力になるよう、家庭での実践の機会を増やしてください。

実践に対して、励ましの言葉や感謝の言葉をかけてくださると、意欲がますます高まります。かけがえない家族の一員としての自覚をうながされ、よりよい家庭生活を築こうとする姿勢がいっそう強くなります。ご協力をよろしくお願いします。